

大和郡山 防災ニュース 元. 11月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

今年は、治道地区で防災訓練を開催しました！

11月24日、治道小学校において、「治道地区防災訓練」を開催しました。

主催は、治道地区自治連合会、治道地区社会福祉協議会及び市で結成した「治道地区防災訓練実行委員会」

午前9時00分に、奈良県内に直下型地震が発生、本市で震度7を記録したという設定で、同時刻に、横田、発志院の消防分団庫、治道小学校、地区公民館で一斉にサイレンを鳴らし、参加者はその間、シェイクアウトの体制を取りました。

その後、各自治会毎に小学校に集団避難し、入所受付班の指導の下、受付を行い、総務班による体育館の開錠と安全確認が済んだ後、避難誘導班や消防団の案内で体育館に入場しました。今回は、市内の身体障がい者団体も参加し、車イスでの体育館入場に、地元の皆さんがお手伝いする光景も見られました。



また、食料班が給水・配食指導、衛生班が簡易トイレの設営、救護班が避難住民の健康状態の聞き取り活動を行います。

体育館内では、参加住民が協力して、長さ10mの畳ロールや、栓を抜くと自動的に空気が入って膨らむマットを協力して敷いた後、高齢者・家族連れなどそれぞれの状況に応じた落ち着き場所を検討してもらいました。

次に、体育館内3箇所に分けて行った消防署と救護班による救命救急訓練では、飛び入りの子供さんが、竹ざおを使った即席担架に試し乗りしたり、消防団広報指導分団によるタオルを使った避難所体操も皆さん熱心に行われました。

式典のあと、参加者全員で非常食のアルファ米での昼食を摂り、最後は、消防団による放水披露、今回は、林野などで延焼を防ぐため、





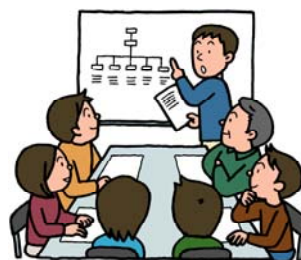
タテ方向に穴を開けたホースを地面に寝かせて、水のカーテンをつくる「水幕ホース」の実演を行いました。

また、住民による消防放水体験や郡山警察署のパトカー展示など、お楽しみもそろった訓練の一日になりました。

参加者350名、住民の皆さんでつくりあげた訓練！

今回の訓練は、昨年筒井小学校での訓練同様に、地域の防災力の確実な向上を目指して、住民自らが避難所を開設運営してもらう訓練でした。この開催に当たっては、今年の5月から実行委員会を立ち上げ、6回にわたる協議に加え、リハーサルや前日準備も含め、地元の皆さんの協力を得て、進めてきました。

特に今年は、自治連合会にとどまらず、地区社会福祉協議会傘下の民生協議会、高友クラブ、PTA、公民館クラブ協議会、日赤奉仕団、交通安全協会に学校、土地改良区、消防団といった地域総出の訓練となったのが大きな成果だと感じました！



今年はたくさんの自治会や地域団体から出前防災講座のご依頼をいただいています！

市では、自治会や地域団体向けの出前防災講座をお受けしていますが、ここ数年日本各地での災害の影響で年々ご依頼が増えてきています。

昨年の講座数は28回で、うち市主催や押しかけ講座を除くと16回のご依頼だったのが、今年度は11月25日現在で31回、このうちご依頼をいただいた講座が25回となっています。

講座の内容は、住民向け、役員向け自治連合会や社協向け、地震に関すること、水害への対応、要支援者名簿の活用方法や避難態勢づくりなど、ご依頼者のご要望にできるだけお答えしてまいりますので、市民安全課までお気軽におたずねください。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください！

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課